

露店等チェックシート

店舗名		確認日時 令和 年 月 日 時 分 ごろ
主催者が認める出店か	主催者出店・その他 ()	
消火器設置の有無	有 ・ 無	

種別	確認項目	結果
火 気 器 具	火気器具が設置されている台は安定した床、台又は板の上で使用しているか？	
	火気器具（コンロ）側方及び後方15cm以内、上方1m以内に可燃物がないか？	
	器具の周囲は、整理整頓されているか？	
	本来の目的以外に使用していないか？	
ガ ソ リ ン （ 燃 料 ） の 貯 蔵	金属製容器で貯蔵しているか？	
	ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は、火気や高温部から離れ、直射日光の当たらない通風、換気の良い場所か？	
	ガソリン貯蔵容器からガソリン蒸気が流出しないように容器は密栓しているか？	
	保管しているガソリンは40リットル未満か？ ※40リットル以上を取扱い保管する場合は届出が必要	
発電機	火気から離して使用しているか？	
ガ ス ボ ン ベ 等	直射日光の当たらない通風、換気の良い場所に設置されているか？	
	ボンベは容易に転倒するおそれがないか？	
	ゴム管が、ひび割れ、硬化等老朽化していないか？	
	長すぎるゴム管を使用していないか？（安全のため3m以下のゴム管を使用しましょう。）	
	ゴム管等を接続する場合は、ゴム管口の挿入指示位置まで差し込み、ゴム管止め又はホースバンドで止めているか？	
	ゴム管は放射熱や火炎により高温になるおそれや異常な外力が加わる場所にあるか？	
	使っていないガスの元栓にはゴムキャップがされているか？	

※ 結果欄には、「○、×、△、－」のいずれかを記入すること。
「○」～適 「×」～不適 「△」～指導により適 「－」～該当なし

ガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

【ガソリンの特性】

- 引火点は -40°C 程度と低く、極めて引火しやすい。
- 揮発しやすく、その蒸気は空気より約3～4倍重いので、滞留しやすく可燃性の雰囲気は広範囲に形成されやすい。

【貯蔵・取扱い時の留意事項】

- ① 貯蔵容器を運搬する場合は、キャップが完全に閉まっていることを確認する。
- ② 火気器具の近くで発電機にガソリンを給油しない。
- ③ 発電機に給油するときは、必ず発電機のエンジンを止める。
- ④ 貯蔵容器内の圧力が上昇することがあるので、こぼれ・あふれ等がないよう貯蔵容器開栓時には必ずエア調整ネジを緩め、貯蔵容器内の圧力を調整してからタンクキャップを取り出す。
- ⑤ 万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用禁止や立入りの制限等が必要です。
- ⑥ 衣服や身体に付着した場合は、直ちに衣服を脱いで大量の水と石けんで洗い流しましょう。



ガソリンの貯蔵に適した容器の例
(金属製容器であることが必要)



ガソリンの貯蔵に適さない容器の例
(樹脂製容器は火災危険性が高い)